

みんなの学校

令和6年度
蒲郡中学校区
「学校運営協議会」だより
第1号
令和6年6月発行

—地域とともにある学校づくり・まちづくり—

蒲中学区小中一貫型

学校運営協議会制度2年目を迎えました

5月18日(土) 10:00から、蒲郡中学校多目的教室において「第1回蒲郡中学校区学校運営協議会」が開催されました。

1 はじめのことば

2 代表校長あいさつ



3 委嘱状の伝達

蒲郡市教育委員会彦坂主幹より、代表で廣中達憲委員に協議会委員の委嘱状が渡されました。



4 自己紹介

右の委員さんの他に、蒲中学区担当の市教委学校教育課の彦坂繁主幹、壁谷剛幸指導主事、壁谷昌泰統括コーディネーター、蒲中学区四校の管理職が参加しています。

5 会長・副会長選出

会 長に 廣中 達憲 委員

副会長に 山本 昌宏 委員

が承認されました。

【令和6年度蒲中学区学校運営協議会委員】

学識経験者	廣中 達憲	元教育長 元蒲南小学校長
学識経験者	鈴木 康仁	元市教委 教育委員長
学識経験者	岡田 敏宏	前蒲郡中学校長 元市教委教育監
総代会代表	大場富士弥	蒲中学区総代会代表
同窓会代表	山本 昌宏	蒲郡中同窓会長
地元企業関係	志賀 裕志	金トビ志賀営業部長
地元企業関係	高橋 昌利	東部地区柑橘自営農家
地元若者支援	鈴木 法政	若者サポステ所長
地域文化教育	新井麻利子	蒲郡市立図書館館長
地域文化教育	小林 龍二	竹島水族館館長
地域福祉関係	鈴木 照江	市子ども会連絡協議会会長
学区保育園	河合 美鈴	みどり保育園長
学区民生委員	小田喜美代	民生委員
学区敬老会	寺澤 忠宣	蒲東小敬老会会長
PTA代表	國松さより	保護者代表(蒲南小)
PTA代表	長谷川こずえ	保護者代表(蒲東小)
PTA代表	大須賀 優	保護者代表(竹島小)
PTA代表	武市 教児	保護者代表(蒲郡中)
公民館代表	山田 悦代	小江公民館主事
公民館代表	大場 和生	東部公民館長
公民館代表	稲垣 雅治	府相公民館長
協働活動推進員	細井真理子	蒲郡中推進員
協働活動推進員	早川 康子	蒲南小推進員
協働活動推進員	吉見かおる	蒲東小推進員
協働活動推進員	山口やす子	竹島小推進員



6 協議（議長は廣中協議会長）

（１）蒲郡中学校区における学校運営協議会制度について

地域の声を積極的に生かし、一体となって特色ある学校づくりを進めるために、子どもにかかわる大人のチーム蒲中学区体制を作っていきたい。『地域が学校に、学校が地域に』を合い言葉に、義務教育9年間を見通して『自分づくり』『友だちづくり』『地域づくり』3点に視点をあてた9つの目指す児童生徒像を設定した。そこにせまりながら、最終学年である蒲中3年生の姿を目指す姿と掲げ、学区の4校が1つの学校となるイメージで小中一貫教育を推進していくのが蒲郡中学校区小中一貫型コミュニティスクールと考える。

（２）蒲中学校区概要と学校運営方針

①蒲郡南部小学校（遠山校長）

「自律・尊重・創造」は並列ではなく、考え、行動できる「自律」を重要視したい。「自分勝手」や「わがまま」でない、真の自律した子どもを目指したい。

②蒲郡東部小学校（小島校長）

校訓「事に魂を込めよ」の精神を大切に、子どもたちがひとつのことに本気になってとことん取り組み、くぐり抜けながら心と体と知恵を磨いていくことを目指していく。

③竹島小学校（柴田校長）

「学び合い」「つながり」「豊かさ」をキーワードに、「知・徳・体」の調和のとれた人間形成をめざし、明るく元気で実践力に富んだ子どもの育成を目指す。

④蒲郡中学校（伊藤校長）

「自ら学び、動き出す生徒を育成する授業づくり・人を大事にする仲間づくり・地域に位置付いた学校づくり」をキーワードに、最終目標でもある3年生の姿を目指す。

（３）蒲郡中学校区の地域学校協働活動について（壁谷統括コーディネーター）

令和5年度の取り組みからは、ボランティアの延べ人数や放課後子ども教室の実施状況など、具体的な数値から見ても、蒲中学区は市内でも大変高い水準で協働活動が推進されている。令和6年度の方向性は、協働活動と学校運営協議会が一体的な推進を進めるために「目標・ビジョンの共有化」「活動の精選・継続」が重要になる。

そのためにはこの場でも行われる『熟議』で忌憚のない意見を吸い上げ、生かしていくことが大切である。



7 熟議 「めざす児童生徒像から見た今の子どもたちは」（グループ討議）

6つのグループに分かれて、「自分づくり」「友だちづくり」「地域づくり」の観点から、学校でできること、協働活動でできることを話し合いました。

■学校と地域が一体となったあいさつ運動を展開したい。協力者の顔と名前がわかるバッチ制作ができないか。■踏み出せない子の居場所づくり、悩む保護者が集まれる場づくりをしたい。■子どもが興味あることを自分の手で作り上げ、広げさせたい。そのための、失敗を恐れない環境づくりをしたい。■人の意見をきく子どもたちにするために、まず大人から、あいさつや学校・家庭で話を聴く場を大切にしたい。■地域とふれ合う場に子どもをたくさん巻き込んでいきたい。■子どもが五感・ICTをフル活用して自分で工夫できる活動を進めたい。



8 連絡 その他

次回10月12日（土）に開催する第2回学校運営協議会では、今回の熟議をふまえ具体的な活動を示し、形にしていこう。

（廣中協議会長より）

運営協議会の話し合いが実現していくためには、学校教育課だけでなく、生涯学習課との連携なくしては難しい。そのためにも、市教委が課長会等の場で訴えながら課題を共有し、その結果についても発表していくことが委嘱をされた者の責任である。

9 終わりのことば

以上、第1回協議会の概要でした。